



会期前から会期中にかけて、出展作家や地域の団体によるトーク、ワークショップ、ツアー、オープンアトリエなどを開催します。
作品を見るだけでなく、つくること、歩くこと、語り合うことを通して、城跡から亀岡へと広がる風景をお楽しみください。

城跡イベントShiroadto events

9/22（火・祝）13:30～16:30 TOTTE (WONG Chung Wah+FOK Ching)

「城跡巡りの手帖づくり」

9/23（水・祝）10:00～12:00 難波洋子

「楽しく作って、使って飾れる工作！」

10/4（日）14:00～16:30 阪本 結・中島 麦

「制作の『いま』をめぐる 一南丹市八木町・オープンアトリエツアー」

城跡を飛び出し、南丹市八木町の制作現場へ。作家たちが日々制作する場所を訪ね、制作途中の作品や道具、周囲の風景に触れながら、「作品が生まれる場所」を巡ります。

10/10（土）ツアー：13:30～14:20 / 体験：14:30～16:00 澤田 徹（大本花明山植物園）

「花明山植物園ガイドツアー」／「植物標本づくり体験」

城跡芸術展の舞台のひとつ「花明山植物園」を、長年園内の管理を担当している澤田さんとともに巡ります。植物標本づくりでは、植物の特徴を調べる「植物標本の作製（押し葉の貼り付け作業）」を体験します。



10/11（日）10:30～12:00 Luan Banzai

「From Energy to Form ―エネルギーから、かたちへ―」

私たちのあらゆる行動は、エネルギーとも呼べる感覚や衝動から始まります。瞑想・ダンス・ドローイングを、探求と感覚を開くための手段として取り入れ、身体や動き、そして創造的なエネルギーを活かすことを考えるワークショップです。

10/11（日）14:00～14:30 / 15:30～16:00 京都芸術大学アートプロデュースコース3回生

「画材ぐるぐる探検隊 一きみだけの『家』を描いてみよう」

「巡り堂」のさまざまな画材を手に取り、描いたり、試したりしながら、自分だけの「家」を描きます。子どもから大人まで、画材との新しい出会いを楽しむワークショップです。

10/12（月・祝）13:30～15:00 副産物産店企画

『さんけい製作所を経由したアーティストたち』トークイベント&石橋義正作品特別上映会」

かつて亀岡にあった共同スタジオ「さんけい製作所」を起点に、そこを経由したアーティストたちの活動や記憶を振り返ります。その中心メンバーで、亀岡を拠点に様々な映像作品を生み出した石橋義正の作品「バシリオン・プレジャー・ナイト」を特別上映。



写真：田中マサアキ
©Vermilion Pleasure Night 2026

お問い合わせ：

かめおか霧の芸術祭実行委員会
Mail: shiroadtoart@gmail.com
Tel: 0771-55-9655



特設HP



Instagram

<<<<
最新情報・詳細は公式サイト
またはSNSをご確認ください。

<https://kameoka-kiri.jp/shiroadto-art-exhibition/>



10/17（土）城跡会場：11:00～12:00 / 緑化フェア会場：13:30～15:30

「城跡と公園をめぐるブリッジアートツアー」 アートパークプログラム連携

本展の会場・丹波亀山城跡と、同時開催中の「ART PARK PROGRAM」の会場・京都亀岡保津川公園を巡り、作品や風景にふれながら、今年のテーマ「城跡から亀岡へ」を体感します。

10/18（日）15:00～19:00頃 副産物産店企画：ステージ4（小山田徹、中脇健児・小山田十喜）

「ちっちゃい焚き火を囲んで語らう会 in 亀岡」

小さな焚き火を囲みながら、参加者同士でゆっくりと語り合います。まちのこと、暮らしのこと、つくること。何かを決めるためではなく、火を囲む時間から生まれる会話を楽しみます。

10/24（土） 松井利夫×京都芸術大学アートプロデュースコース3回生

「作家とみる!! 陶芸作品鑑賞ピクニック」10:30～12:00

陶芸家松井利夫との会話や鑑賞を通して作品に触れ、その体験を手がかりに、作家自身になりきって作品を眺める「鑑賞ピクニック」を体験できます。

「かめおか探検隊 ―みんなで地図を作ろう!」13:30～15:30

まちを探検し、気になった素材を集めて自分だけの地図をつくります。最後はみんなの地図をつなぎ合わせ、粘土造形を通して街を再発見し新しい視点を楽しむワークショップです。

10/24（土）17:00～19:00 並河杏奈（一般社団法人 Fogin コーディネーター）

「丹波亀山城下町まち巡りツアー」

亀岡祭の宵宮でにぎわう街を歩き、城下町の面影が残る街並みを並河杏奈とともに巡ります。商店街や酒蔵を通りながら、昔ながらの風景と、新しく変わりゆく地域の営みに触れてみましょう。

10/25（日）13:30～14:30 副産物産店×藤井良平

クロージングトーク「市民とつくるデザイン」

城跡芸術展2026の最終日に、今年の展覧会を振り返ります。メインビジュアルや印刷物などのデザインを手がかりに、アーティスト、デザイナー、市民サポーターが関わりながら芸術展をつくることについて、副産物産店と藤井良平（本展アートディレクター）が語り合います。

関連イベント Related events

10/10（土）～25（日） 会場：湯の花温泉 すみや亀峰庵

松井利夫×湯の花温泉 すみや亀峰庵

「すみやの森：温泉と、珈琲と、サイネンショー」

10/10（土）～25（日）10:00～16:30 会場：みろく会館2階

ポリー・バートン作品展「Rejoined Threads（糸の再会）」

10/12（月・祝）10:00～11:30 会場：花明山植物園

松井利夫×一般財団法人 NISSHA 財団

「Touch the ART! (for children) Vol.5 朝のをむ 一朝露の茶会―」

10/12（月・祝）能体験：13:00～13:50 / お茶席：14:00～16:30 会場：万祥殿

「大本 AIZEN」ワークショップ ー大本と能楽 紹介・お茶席体験ー

10/19（月） 会場：亀岡高校

松岡勇樹・土淵麻衣×亀岡高校生 クロストーク ※亀岡高校生対象

各イベントの詳細、お申し込みは右上のQRコードより



特設HP

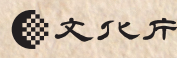


Instagram

主催 | かめおか霧の芸術祭実行委員会、亀岡市
協力 | 宗教法人大本、亀岡祭山鉦連合会



かめおか霧の芸術祭
Kameoka KIRI Art Cultivation



令和8年度
文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

城跡芸術展とは

「城跡芸術展」は、京都府亀岡市にゆかりの深いアーティストたちが集い、絵画や彫刻、陶芸、漆造形から、音や光を使ったインスタレーションやパフォーマンスまで、幅広い作品を披露する年に一度の芸術展です。新作はもちろん、亀岡の風土や文化に根ざした作品にも出会える、ここだけの特別な機会となります。

2026年度のテーマは、「風景を引き継ぐー城跡から亀岡へ」。風景を、目に見える景色だけではなく、その土地に積み重ねられてきた歴史や記憶、暮らし、人々の営みや関係性によって形づくられるものとして捉えます。歴史の記憶を今に伝える丹波亀山城跡を起点に、亀岡のまちや人々と視線をひらきながら、これから引き継いでいきたい風景について考えます。

会期を通して、城跡を起点にさまざまな催しや交流が亀岡の各地へと広がり、まちは村祭りのような賑わいに包まれます。今年は、副産物産店がディレクションするミュージアムショップも開設。芸術に詳しくなくても、ふらりと立ち寄れば、作品と人と場所とが織りなす出会いが待っています。秋の城跡で繰り広げられる“芸術のお祭り”に、ぜひご参加ください。



ミュージアムショップ

会期中全日開催・城跡芸術展会場内
ディレクション：副産物産店

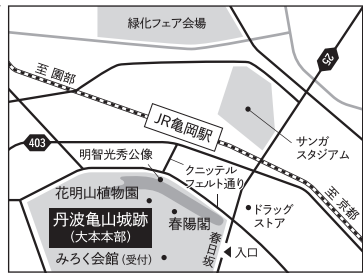
城跡芸術展の出展作家だけでなく、亀岡を拠点に活動する作家や、「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」の京都・亀岡保津川公園会場に関わる作家・プロジェクトにも参加の輪を広げます。作品や関連グッズ、書籍など、さまざまな品々が並び、作品や活動の一部を持ち帰ることのできるショップです。展示とあわせて、ぜひお立ち寄りください。



会期・会場：

会期：2026年10月10日(土)～10月25日(日) (16日間)
時間：午前10時～午後4時30分
観覧料：無料
会場：丹波亀山城跡 (大本本部・みろく会館／春陽閣／花明山植物園)
〒621-0851 京都府亀岡市荒塚町内丸1番地
●電車でのアクセス
JR京都駅から嵯峨野線（山陰本線）にて約20分 → JR 亀岡駅 南口より徒歩10分
●車でのアクセス
大本本部駐車場をご利用ください（無料）

MAP：



出展作家



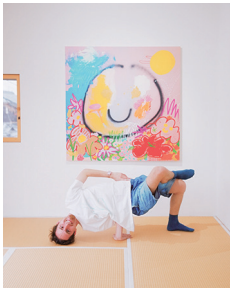
Artists

風景を引き継ぐ

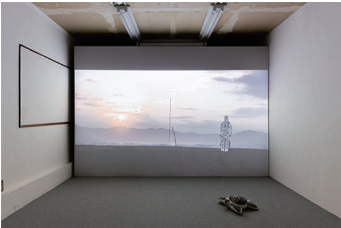
城跡から亀岡へ



ACOON HIBINO



Luan Banzai



小松千倫



中島 麦



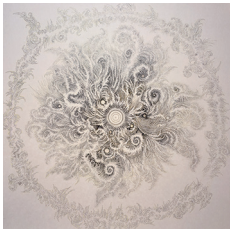
奥村博美



時田早苗



ベリーマキコ



松岡勇樹



山本和夫

亀岡ゆかりの作家・関連作品

亀岡駅周辺には、亀岡ゆかりの作家による作品が設置されています。駅北側には西野康造《「風になるとき緑の風」2026》、南側にはヤノベケンジ《SHIP'S CAT MISTY》があります。二つの作品は、駅を挟んで亀岡の新たな風景の一部となっています。城跡芸術展とあわせて、ぜひご覧ください。



MUKU ART BASE (森田 舞+山本学司)



ZENG HUIRU



阪本 結



土淵麻衣



難波洋子



西久松吉雄



村上有輝



綿引恒平／篠窠・焼き物プロジェクト



モフモフコレクティブ 2026
(ヤノベケンジ、山口京将、佐久間花音)



吉田伊佐



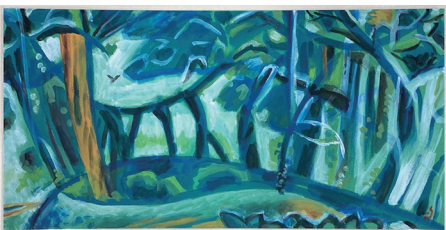
越後光詞



大矢一成



出口鯉太郎



でぐちみつぎ



藤川耕生



西久松 綾



森 太三



八木良太

城跡に、この秋再び“芸術の祭り”がやってくる。



【関連開催】
亀岡祭山鉾行事



歴史と伝統を持つ、京都府登録無形民俗文化財・亀岡市指定無形民俗文化財の「亀岡祭山鉾行事」。10月24日の宵宮には山鉾が建ち、日暮れとともに提灯が灯り、お囃子が旧城下町に響きます。25日の本祭では、山鉾が旧城下町を巡行します。今年は城跡芸術展の最終週末と重なります。城跡から旧城下町へ、秋の亀岡を歩いてお楽しみください。

宵宮：10月24日(土)
本祭・山鉾巡行：10月25日(日)
公式サイト▽
<https://www.k-yamahoko.com/event.html>



公式HP